

「横浜市で暮らしたいと希望する人たちの希望の実現を」

横浜市グループホーム連絡会 室津滋樹

7/21、神奈川県に「横浜市で暮らしたいと希望する人たちの希望の実現を」という意見書を提出いたしました。（次頁）

意見書を提出した団体は、横浜市の以下の4団体です。

横浜市グループホーム連絡会 会長 室津滋樹（むろつしげき）

横浜市障害者地域活動ホーム連絡会 会長 早坂由美子（はやさかゆみこ）

横浜市障害者地域作業所連絡会 会長 谷口実（たにぐちみのる）

横浜市精神障害者地域生活支援連合会 会長 大友勝（おおともまさる）

この4団体は、それぞれ、横浜市の地域にあって、知的障害、身体障害、精神障害の人たちが利用しているグループホーム、地域活動ホーム、作業所の関係者で構成されている団体です。

私たちは、津久井やまゆり園の事件後、どのような障害があっても地域の中で暮らせる社会をつくることが、求められている課題と考えてきました。

「地域で暮らせなくなって入所施設に入所している人たち」一人一人の希望を聞き、地域での暮らしを希望する方がおられるなら、地域の中で生活していけるようにしなければならないと、話し合ってきました。

横浜市で暮らしたいと希望する人たちがいれば、是非その希望を実現していきたいと考え、神奈川県にその意思表示をおこなってまいりました。